

【22_273思考系メルマガ】『トレード』と『ハンター』の思考

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

トレードの学習において、発信者の中にはトレードという行為を、色んな物に例えて説明してくれる人がいます。

よく目、耳にするのは、スポーツ選手であったり、経営者の例えが多いですかね。

もちろん、それらの例えも的を射た表現だと思いますが、僕は自分の現状のトレードスタイルをよく考えてみると

もう少し違ったイメージになるかなと考えています。

今日のテーマでは、自分のトレードのイメージを異なる角度から捉えて、本質を考えてみたいと思います。

ここ何回か、技術(テクニック)系の話が続いたので、頭の体操だと思って読み進めてみてください。

□
└─ ■ トレードは『ハンティング』に近いもの

既に、タイトルに書いてしまっているのでオチが見えている話ですが(笑)

僕の中ではトレードというのは

- ・自分が勝負すべきフィールドを決める(通貨ペアの選択、目線の固定)
- ・過去の検証結果を基に、『この動きが来たら、仕掛ける』というセットアップを決めている
- ・トリガーとなる動きが出てきたら、その時に躊躇せずエントリーする

この手順を一貫して行う事がすべてであると考えています。

決して、入ったら絶対勝てるエントリーポイントを探すのでもなければ

先の値動きを当てに行くのでもない。

すべて、一貫した行動による結果の積み重ねで利益を残さなくてはいけない。

だからこそ、「個々の結果」に注目するのではなく『個々の丁寧な行動(一貫性)』が重要になります。

それを職業的に実践しているのが、いわゆる職業としての『ハンター(猟師)』だと思ったわけです。

参考までに、僕が最近見たYouTubeで公開されている『奥羽山系マタギの世界』という動画を紹介するので

お時間がある方は是非観てみてください。古い映像ですが、色々考えることができると思います。

▼YouTubeはコチラ▼

<https://youtu.be/k86HTgTjYs>

自分の射程圏に入る(例えば僕なら、待ち伏せている目線に沿ってMAのセットアップが完成すること)時

そこから更に照準を合わせて(セットアップ⇒トリガーの確認)撃つ。

それまではじっと待っている。

下手に撃てば逆に自分が襲われる状況だからこそ、自分にとってのベストで引き金を引くという行為を繰り返し行う事が

自分自身やったことは無いですが(笑)狩猟のそれと意識として共通するものも多いように思います。

とにかくその前の準備であったり、待つ作業というものが単調であり、退屈であり、面白くないと感じるものです。

ですがその1頭の獲物を授かるために、ハンターは全力を注ぎます。

僕のトレードの在り姿も、是非そのようでありたいと思うし

これがしっかりできるようになったトレーダーは、きっと見てくれの華やかさなどとは全然違う

『カッコいい仕事師』になるのではないのでしょうか。